



付金では、タイプ1交付金の総額で県下ナンバー1、全国でもトップクラスとなったことについて大いに評価したい。今後はその実現力、実施力、さらには調達力が問われることとなる。一方、内部執行体制に関して「包括的予算制度」を導入するとの説明があったがその意図するところは何か。(村田)

答 この制度の導入で事業部への大幅な権限委譲を行う。それによって事業部制の機能向上と事業部マネジメントの強化を図り、人・モノ・金をなるべく市民に近い所でスピーディーに運用できるようになることを目指す。

◆ウォームビズ運動の推進
問 経費節減のため市の施設から徹底しては。(永井)
答 11月1日から平成28年3



市役所本庁舎内のエアコンのコントローラー

月31日まで、本庁舎、総合文化センター、保健福祉センター、市民交流センター、支所等で実施、室温は19度を目標に適切な維持管理に努める。

安全な道路環境を



野村のT字交差点

◆野村に信号機の設置を

問 都市計画道路丘東通線の道路拡幅に伴い、同原新田野村通線とのT字交差点に、信号機の設置を。(永井)

答 平成28年度に設置できるように、県の公安委員会へ要望をしている。

◆道路拡幅と排水路迂回工事
問 エブソン広丘事業所周辺の排水路工事の内容と道路拡幅工事の整合性は。(永井)

答 都市計画道路の道路側溝



都市計画道路の側溝

と合わせて整備する。東西の原新田野村通線沿いは、90cm×90cmのボックスカルバートで延長390m、南北の丘東通線沿いは、90cm×90cmから100cm×100cmの同上カルバートで延長420mを整備する予定。

◆今後の主なハード事業
問 平成29年度までの実施計画で予定されている大型公共事業は。(永井)

答 北部地域拠点施設整備事業、新体育館建設事業、東部圏域地域福祉拠点整備事業、文化会館改修事業、土地利用促進事業、道路新設改良事業等を予定している。

◆県の歩道整備計画について
問 県は、塩尻市のワイナリーを結ぶ県道に歩道整備を計画しているが、郷原街道歩道整備の要望について、市の考えは。(西條)



歩道整備を要望している郷原街道

答 県へは、マウントアップ歩道のリメイク事業として、歩道の切り下げを要望している。

◆新体育館建設について

問 新体育館建設事業の基本計画策定業務発注仕様書において基本コンセプトと基本要件が混在しかつ網羅性に欠けているのでは。(村田)

答 今回発注の基本計画はその後の基本設計をプロポーザル方式で行うための概念を形にすることが目的。その過程では市と受注業者とは十分なキャッチボールを行っていく。
問 これも含め事業実施にあたってはコストセーブとスピーディを旨に調達力を高める努力を強く望む。(村田)